

<報道発表資料>

令和3年10月29日

埼玉県景気動向指数（令和3年8月分）の公表について

1 基調判断

- 景気動向指数（CI 一致指数）は、改善を示しています。

2 指数の動き

- 8月のCIは、先行指数：116.3、一致指数：78.9、遅行指数：84.4となりました。（平成27年=100）
- 先行指数は、前月と比較して4.9ポイント下降し、2か月連続の下降となりました。3か月後方移動平均は、1.1ポイント下降し、8か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は、0.78ポイント上昇し、12か月連続の上昇となりました。
- 一致指数は、前月と比較して3ポイント下降し、2か月連続の下降となりました。3か月後方移動平均は、0.06ポイント下降し、2か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.08ポイント下降し、9か月ぶりの下降となりました。
- 遅行指数は、前月と比較して1.9ポイント下降し、3か月ぶりの下降となりました。3か月後方移動平均は、0.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇、7か月後方移動平均は、0.53ポイント下降し、23か月連続の下降となりました。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	0.72
C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	0.34
C7: 県百貨店・スーパー商品販売額	0.16
寄与度がマイナスの系列	寄与度
C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.83
C9: 県耐久消費財出荷指数	-0.80
C8: 県生産財出荷指数	-0.79
C1: 県生産指数(製造工業)	-0.76
C3: 県投資財出荷指数	-0.62
C4: 県有効求人倍率(除学卒)	-0.46

※各個別系列のウェイトは均等です。

埼玉県景気動向指数について（参考）

1 景気動向指数とは

- 経済の各分野を代表し、景気に反応する複数の指標を合成・指数化して作成します。
- 景気に先行する先行指数、景気に一致する一致指数、景気に遅れて動く遅行指数があります。

2 作成方法

- 国（内閣府）の景気動向指数の作成方法に準じて作成しています。
 - ※ ただし、作成に使用している統計指標が国と埼玉県では異なりますので、数値の単純な比較はできません。ご注意ください。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県景気動向指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/keiki-doukou-shisuu2.html>